

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
図画工作 I		塚越 弘之	実技	1	前期
必修・選択	卒業要件				
	資格要件	幼稚園教諭 2 種免許必修	保育士資格必修		
学習目標	<p>幼児の造形表現活動を活発にするため、造形表現活動の意義・目的や幼児の造形的発達段階を理解するとともに、基礎的な造形技法や造形表現に関する指導法を身に付ける。</p> <p>特に、平面造形（「描く」や「つくる」、「造形遊び」）の指導について、基礎技術を身に付ける。</p>				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	幼児期の造形表現	幼児にとって造形表現活動の必要性・意義, 目的、内容及び幼児期の造形的発達段階とその特徴を知る。			
2	色の基礎知識	色の基礎知識（有彩色・無彩色、色相、彩度、明度）			
3	鉛筆やクレヨンによる素描	鉛筆やクレヨンの濃淡やタッチによる表現の工夫			
4	マーブリング（墨流し）	墨汁や絵具のマーブリング法を実習し、表現された形や色を楽しみ、それらを利用して、空想の世界を表す。			
5	デカルコマニー（合せ絵）	デカルコマニーの技法を活かして造形し、それをヒントに創造の動物を制作する。			
6	スクラッチ（引掻き絵）	色を二重に塗り、上の層をニードルで引掻き、下地の色を引き出ししながら描く技法に親しむ。			
7	空想画	上記の表現技法を駆使して、テーマを決めて空想の世界を表現			
8	スパッターリング（霧吹き法）	霧吹きやブラッシング法などで描く。			
9	フロッタージュ（擦り出し）	凹凸面のある硬い物の上に紙を置いて擦り出す方法を使った画面構成			
10	スタンピング（型押し）	スタンピングを使った平面構成			
11	フォトモンタージュ（合成写真）	合成写真の方法で、不思議な世界を表現			
12	いろいろな技法で描く 1 枚の絵	課題にそって、いろいろな技法を使って 1 枚の絵を描く。			
13	造形表現活動の進め方（1）	年間計画や日案等の指導計画、造形表現の望ましい環境作り			
14	造形表現活動の進め方（2）	教材研究の仕方、造形表現活動の指導案の作成			
15	模擬授業	指導の実際を体験し、指導法に慣れる。			
参 考 書	<p>花篤 實 他編 幼児教育法講座 造形表現 理論・実践編 三晃書房 2009</p> <p>花篤 實 他編 幼児教育法講座 造形表現 実技編 三晃書房 2009</p>				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	図画工作セット(水彩絵具、水入れ、筆、クレパス、スケッチブック、セロテープ、カッター、糊、鋏、マーブリング絵具等)指定用具や材料を忘れないこと。参考書を読んで出席すること。				
評価の方法と時期	・出席・学習態度、提出された作品、課題レポートを資料とし、学期末に総合的に評価。				

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
図画工作Ⅱ		塚越 弘之	実技	1	後期
必修・選択	卒業要件				
	資格要件	幼稚園教諭2種免許選択	保育士資格選択必修		
学習目標	<p>図画工作Ⅰをもとに、幼児の造形表現活動を活発にするため、造形表現活動の意義・目的や幼児の造形的発達段階を理解し、立体的な造形技法や造形表現に関する指導法を身に付ける。</p> <p>特に、立体造形表現（「つくる領域」や「造形遊び」）の指導について、基礎的な技術を身に付ける。</p>				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	幼児期の造形活動と造形的発達	造形表現内容の構成や幼児の立体造形の発達段階の特徴を知る。			
2	立体造形と材料、用具について	心象表現と適応表現，自然材料と人工材料、幼児の造形用具等を知る。			
3	身近な材料を使って（1）「新聞紙」	新聞紙を材料として衣装を考え、「ファッションショー」をする。			
4	「紙コップ」を使って	素材の特徴を活かして、幼児が喜びそうなものをつくる。			
5	「紙皿」を使って	材料の特徴を使って、飾るものをつくる。			
6	「芯材」を使って	芯材の特徴(円柱形)を活かして、幼児が喜びそうなものをつくる。			
7	「紙バック」を使って	四角柱・直方形を切ったり折ったりして幼児が使うものをつくる。			
8	いろいろな材料で、仮面をつくる	紙素材を活かして、喜怒哀楽の表情のある仮面を作る。			
9	小麦粉粘土で楽しむ	小麦粉粘土のつくり方、特徴、保管の仕方など			
10	ペットボトルで車をつくる	ペットボトルとストロー、キャップ、串材を使った車をつくる。			
11	折り紙	折り紙の歴史、意義、扱い上の注意など、実際の折り紙			
12	ダンボールでつくる	ダンボールの特長を活かして、遊ぶものをつくる。			
13	造形表現活動の指導案づくり	身近な材料のできる題材を決め、実際の指導案を立てる。			
14	模擬授業（1）	学生を幼児に見立てて模擬授業を行う。			
15	模擬授業（2）	指導の実際を体験し、指導法に慣れる。			
参 考 書	花篤 實 他編 幼児教育法講座 造形表現 理論・実践編 三晃書房 2009 花篤 實 他編 幼児教育法講座 造形表現 実技編 三晃書房 2009				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	図画工作セット(水彩絵具、水入れ、筆、クレパス、スケッチブック、セロテープ、カッター、糊、鋏、マープリング絵具等)指定用具や材料を忘れないこと。参考書を読んで出席すること				
評価の方法と時期	・出席・学習態度、提出された作品、課題レポートを資料とし、学期末に総合的に評価する。				